

第24回滋賀県首長会議提案テーマ一覧（項目一覧）

整理番号	テーマ名	提案団体
①	しょうがい者を対象とした福祉医療費助成制度の所得制限の見直しについて	長浜市
②	全国植樹祭開催を契機としたこれからの森林づくりと森林環境譲与税の活用について	多賀町 滋賀県

第24回滋賀県首長会議テーマ一覧

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
----------	------------------------

①しょうがい者を対象とした福祉医療費助成制度の所得制限の見直しについて

長浜市

医療機関を受診する際の自己負担を助成する「福祉医療費助成制度」について、乳幼児を除く各制度については、所得により受給資格の制限がある。

その中で、滋賀県のしょうがい者への福祉医療助成制度の所得制限については、当初より老齢福祉年金の所得制限を採用し、現在に至るまで変更されていないため、全国で比較しても滋賀県は限度額が低く厳しい内容となっている。

また、県内の一部市町においては、市町独自で県基準より所得制限を緩和した助成基準やしょうがい等級範囲を拡充して助成している場合があり、県内の住所によって助成内容の格差が生じている状況となっている。

令和2年7月21日開催の首長会議では、福祉医療について議論され、令和4、5年で議論し、令和6年を目途に拡充することを検討していくとされたものと認識している。

現在まで、滋賀県で検討されてきた経過を確認するとともに、制度の緩和に向けた見直しの時期や内容について県と市町で協議を行いたい。

②全国植樹祭開催を契機としたこれからの森林づくりと森林環境譲与税の活用について

多賀町

琵琶湖の面積は県土の1/6を占め、森林面積は県土の3/6で、約202,000haを有し、そこから育まれる豊かな水は、琵琶湖に注ぎ滋賀県だけでなく淀川水系の暮らしを豊かなものとしているところだ。

森林は水源涵養、土砂災害防止だけでなく、木材生産や文化・保健機能、温暖化の緩和など多面的機能を有し、その機能は造林などの森林整備により維持されています。

しかしながら、長年の木材価格の低迷などによりその機能が低下し各地で洪水が生じたり、反対に琵琶湖の水位が枯渇するなど様々な問題が生じてきています。

このような状況を打開するために、川上、川中、川下の流域連携による可能な森林づくりができないかといったことをはじめ、持続可能な滋賀の森林づくりについて意見交換を行いたい。

例えば、

- ・森林の持つ多面的機能維持のための取組み
- ・森林を守るための住民や企業との協働について
- ・各市町の公共施設での木材活用について
- ・森林環境譲与税の活用方法
- ・山間地集落の活性化について

滋賀県

第72回全国植樹祭の開催を契機とし、琵琶湖の水源である森林を守り育て、木材として積極的に活用することなど、持続可能な滋賀の森林づくりを推進していくため、協力をお願いします。

また、全国における市町村の森林環境譲与税の活用状況について新聞等で報道されているが、令和元年度および令和2年度の森林環境譲与税に対する執行額の割合が、約5割に留まっているところ。

令和6年度に森林環境税の課税が開始されるに当たり、その活用状況に対する関心は大きく高まることが予想されることから、森林環境税に対する理解を得るには、森林環境譲与税を活用した成果を世に示していくことが不可欠となっている。

そこで、森林環境税・森林環境譲与税の制度の概要や全国の活用事例などについて改めて情報提供のうえ活用方法について意見交換し、積極的な活用について御検討いただく契機としたい。

